

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

執筆 編集 発行
碧南市特別支援教育推進活動委員会
啓発活動部

さ さ え あ い 第62号



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の交流活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

おいしい野菜ができたよ

棚尾小学校

今年の夏は学校の畑で、オクラ、ピーマン、キュウリ、ミニトマトを育てました。曜日ごとに当番のクラスを決め、水やりや草取りなどお世話をしてきました。「あ、花が咲いた!」「ここにトマトの赤ちゃんができてる!」と畑に行くたびに発見することたくさんありました。暑い中でもがんばって草取りをする低学年。進んで道具を片付けたり、取った草を運んだりする高学年。みんなで一生懸命愛情を注いで育てました。そして、6月の下旬には第一号のキュウリを収穫!子どもたちは巨大キュウリに大興奮でした。観察をした後、塩もみをしてみんなで食べました。自分たちで育てたキュウリは特別おいしかったようです。



(りっぱなキュウリができました)

教 育 講 演 会

「児童精神科診療と地域連携 ～学校との連携を軸に～」



◎講 師 刈谷病院 理事長 平野 千晶 先生
◎日 時 平成29年 7月23日(日) 午後2時～
◎場 所 碧南市文化会館

碧南市特別支援教育推進活動委員会では、毎年、市内の小中学校の保護者・教員・学校関係者の方々に特別支援教育の理解を深めていただくために、講演会を行っています。

今年度の講師の平野先生は、刈谷病院理事長として「地域に開かれた精神科医療・福祉の場」の実現を目指し、活躍してみえます。平野先生から児童精神科診療と学校・家庭が連携することの大切さについてお話をいただきました。

病院・学校・家庭が連携することの意義は、「多くの視点で検討することで、問題を立体的に捉えることができる点」だと教えていただきました。また、病院内の多くのスペシャリストである、精神保健福祉士、看護師の方などが窓口となって相談にのる環境が整っているそうです。子どものことを一人で抱え込まず、周りの人に相談して、お互いに助け合うことで新たな解決法が見えてくると分かりました。今回、平野先生にご講演いただいたことを、これからの子ども達の支援に役立てていきたいと思います。

(西端小学校 啓発係)

中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
特別支援学校	安城特別支援学校	3	5	3	3	5	9	9	
	半田特別支援学校桃花校舎	2	2			1			2
	豊田高等特別支援学校	2	1	3	4	4	2		2
	ひいらぎ特別支援学校	1							
	職業訓練校		2	1			1	2	
	公立高校		1						
	専修学校	2	3				1	1	
	各種学校				1	1	1		
	家事従事		2		1	1			

平成28年度、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒10名の進路は上の表のとおりです。

春日台職業訓練校は、来年度の募集を停止し、今年度限りで廃止されます。平成30年度より、名古屋と岡崎の高等技術専門校に、知的障害者を対象としたコースが設置され、そちらへ移ります。

最近では、専修学校への進学も増えてきています。特別支援学級生徒の受け入れ体制がある専修学校もいくつかあります。情報系や福祉系の専門学校、調理師の専門学校、女子には家政やファッション関係などの専門学校の進路もあります。お子さんの将来や可能性に目を向け、心ざわしい進路を見つけていくことが大切です。

進路について考えることは、早いほどよいと言われています。中学校は三年間しかありませんので、小学校の段階から進路について家庭や学校で話し合いをもつことをおすすめします。

(新川小学校 啓発係)



一緒に子育てについて考えましょう

～乳幼児健康診査にかかわって思うこと～

1歳6か月頃は、歩行や言語など発達の大きな変化が起こる時期、3歳頃は、めざましく社会性が発達する時期といわれています。乳幼児健診の目的には、病気や障害の早期発見・早期治療だけではなく、早期療育、保護者等への支援があります。



健診の場では、お子さん自身、緊張や場に慣れないなどで、普段のお子さんの様子と違うことがあります。その中で、成長発達の確認が十分できず、判断に困ることもあります。普段一緒に生活している保護者の皆さんからの情報が重要になります。お子さんの年齢に応じた成長発達について理解をし、常日頃のお子さんの様子を教えてください。また、不安や心配なことがあれば、遠慮なく教えてください。

乳幼児健診は、子どもの発達の様子を一緒に確認する大切な機会です。広報等をご覧の上、必ず受診してください。

(健康課 母子保健係)